

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2013-520423(P2013-520423A)

【公表日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-553956(P2012-553956)

【国際特許分類】

C 07 C 311/20	(2006.01)
C 07 C 311/29	(2006.01)
A 61 K 31/192	(2006.01)
A 61 K 31/505	(2006.01)
C 07 D 239/26	(2006.01)
A 61 K 31/426	(2006.01)
C 07 D 277/28	(2006.01)
A 61 K 31/353	(2006.01)
C 07 D 311/70	(2006.01)
C 07 D 407/12	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/22	(2006.01)
A 61 P 25/04	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 3/10	(2006.01)
A 61 P 3/04	(2006.01)
A 61 P 3/06	(2006.01)
A 61 P 1/16	(2006.01)

【F I】

C 07 C 311/20	C S P
C 07 C 311/29	
A 61 K 31/192	
A 61 K 31/505	
C 07 D 239/26	
A 61 K 31/426	
C 07 D 277/28	
A 61 K 31/353	
C 07 D 311/70	
C 07 D 407/12	
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 25/18	
A 61 P 25/24	
A 61 P 25/22	
A 61 P 25/04	
A 61 P 25/28	
A 61 P 3/10	
A 61 P 3/04	
A 61 P 3/06	
A 61 P 1/16	

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

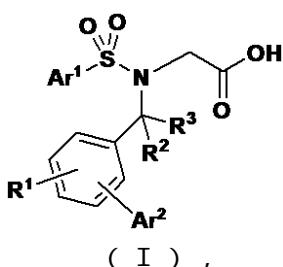
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化1】

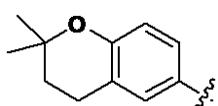


[式中、

Ar^1 は、ナフチルおよびフェニル（ここで、フェニルは、アルキル、ハロ、ハロアルコキシ、アルコキシおよびシアノから独立して選択される0、1または2個の置換基で置換される）から選択され；あるいは、

 Ar^1 は、

【化2】



であり；

Ar^2 は、水素、フェニル、ナフチル、ピリミジニル、チアゾリルおよびキノリニル（ここで、フェニル、ナフチル、ピリミジニル、チアゾリルおよびキノリニルは、各々、アルキル、アルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノおよびハロから独立して選択される0、1または2個の置換基で置換される）から選択され；

R^1 は、水素、シアノ、ハロ、アルキル、アルコキシおよびハロアルコキシから選択され；ならびに

R^2 および R^3 は、各々、低級アルキルであり；または

R^2 および R^3 は、それらが結合する炭素原子と一緒にになって、酸素原子を適宜含有していてもよい3から5員炭素環を形成する]

の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項2】

R^2 および R^3 が、それらが結合する炭素原子と一緒にになって、酸素原子を適宜含有していてもよい3から5員炭素環を形成する、請求項1に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項3】

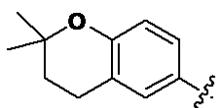
Ar^1 が、ナフチルである、請求項2に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項4】

R^1 がハロであり、 Ar^2 が水素である、請求項3に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項5】

Ar^1 が、
【化 3】



である、請求項 2 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 6】

R^1 がハロであり、 Ar^2 が水素である、請求項 5 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 7】

R^1 が水素であり、 Ar^2 が、2 個のハロ基で適宜置換されていてもよいフェニルである、請求項 5 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 8】

Ar^1 が、アルキル、ハロ、ハロアルコキシ、アルコキシおよびシアノから選択される 0、1 または 2 個の基で置換されるフェニルである、請求項 2 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 9】

R^1 がハロであり、 Ar^2 が水素である、請求項 8 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 10】

R^1 が水素であり、 Ar^2 が、フェニル、ピリミジニルおよびチアゾリル（ここで、フェニル、ピリミジニルおよびチアゾリルは、アルキル、アルコキシ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシおよびハロから独立して選択される 0、1 または 2 個の基で置換される）から選択されるものである、請求項 8 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 11】

2 - (N - (1 - (4 - ブロモフェニル) シクロブチル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (4 - (ピリミジン - 5 - イル) フェニル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (N - (1 - (2', 4' - ジクロロビフェニル - 4 - イル) シクロブチル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (2' - メトキシビフェニル - 4 - イル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (2' - (トリフルオロメトキシ) ピフェニル - 4 - イル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (3, 4 - ジクロロ - N - (1 - (2', 4' - ジクロロビフェニル - 3 - イル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (N - (1 - (3 - ブロモフェニル) シクロブチル) - 3, 4 - ジクロロフェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (3, 4 - ジクロロ - N - (1 - (2' - メトキシビフェニル - 3 - イル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (4 - (2, 4 - ジメチルチアゾール - 5 - イル) フェニル) シクロブチル) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (N - (1 - (3', 5' - ジクロロビフェニル - 3 - イル) シクロブチル) - 2, 2 - ジメチルクロマン - 6 - スルホンアミド) 酢酸；

2 - (N - (1 - (ビフェニル - 3 - イル) シクロブチル) - 2, 2 - ジメチルクロマン - 6 - スルホンアミド) 酢酸；

2 - (N - (1 - (ビフェニル - 4 - イル) シクロブチル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸；

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (2 ' - メトキシビフェニル - 4 - イル) シクロプロピル) フェニルスルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (N - (1 - (ビフェニル - 3 - イル) シクロプロピル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (4 - (ジフルオロメトキシ) - N - (1 - (2 ' - メトキシビフェニル - 3 - イル) シクロプロピル) フェニルスルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (N - (1 - (4 - ブロモフェニル) シクロプロピル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (N - (1 - (3 - ブロモフェニル) シクロプロピル) - 4 - (ジフルオロメトキシ) フェニルスルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (N - (1 - (4 - ブロモフェニル) シクロペンチル) ナフタレン - 1 - スルホンアミド) 酢酸 ;

2 - (N - (1 - (4 - ブロモフェニル) シクロペンチル) - 4 - メチルフェニルスルホンアミド) 酢酸 ; および

2 - (N - (1 - (4 - ブロモフェニル) シクロペンチル) ナフタレン - 2 - スルホンアミド) 酢酸

から選択される化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 1 2】

医薬的に許容される量の請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩および医薬的に許容される担体を含む、組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩を含む
、 D A G L および / または D A G L 活性に関連する疾患の治療剤。

【請求項 1 4】

該疾患が、統合失調症、精神病、双極性障害、うつ病、不安障害、疼痛、認知障害、糖尿病、肥満症、脂肪肝および脂質異常症から選択されるものである、請求項 1 3 に記載の治療剤。

【請求項 1 5】

該疾患が、統合失調症、双極性障害、うつ病、不安障害、糖尿病、肥満症、脂肪肝および脂質異常症から選択されるものである、請求項 1 4 に記載の治療剤。